

取組個票新旧対照表

3 取組内容（個表）

番号	4	取組名	NPOとの協働によるまちづくりの推進	所属名	市民活躍・文化課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)			人と人とのつながりや交流が、まちに活力を生み出している。				
現状と課題			本市においては、多様なNPOがそれぞれの特色を生かした活動を実施しているが、NPO同士やまちづくり団体と連携しながら地域課題に取り組むことも期待されている。 市民協働のまちづくりを推進するためには、こうしたNPO活動の活性化、NPO同士やNPOとまちづくりに関わる団体との連携、協働を促進していくことが重要である。				
課題解決に向けた取組			市内NPOの活動促進連携事業として、NPO活動展の開催を継続して実施するほか、NPOポータルサイトの活用促進に取り組む。また、令和6年度から設置した「まちづくり談話室」をはじめ、NPO同士の連携や、NPOと地域振興会等との連携を推進していく。				
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	NPO同士やNPOとまちづくり関係団体との連携事業総数	件	2	2	7		
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
NPOの連携推進		実施					
NPOポータルサイトの活用		実施					
備考			狙う効果				
			<div> <div> <input type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 </div> <div> <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上 </div> </div>				

3 取組内容（個表）

番号	4	取組名	NPOとの協働によるまちづくりの推進		所属名	市民活躍・文化課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)			人と人とのつながりや交流が、まちに活力を生み出している。					
現状と課題			本市においては、多様なNPOがそれぞれの特色を生かした活動を実施しているが、NPO同士やまちづくり団体と連携しながら地域課題に取り組むことも期待されている。 市民協働のまちづくりを推進するためには、こうしたNPO活動の活性化、NPO同士やNPOとまちづくりに関わる団体との連携、協働を促進していくことが重要である。					
課題解決に向けた取組			市内NPOの活動促進連携事業として、NPO活動展の開催を継続して実施するほか、NPOポータルサイトの活用促進に取り組む。また、令和6年度から設置した「まちづくり談話室」をはじめ、NPO同士の連携や、NPOと地域振興会等との連携を推進していく。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	NPO同士やNPOとまちづくり関係団体との連携事業総数		件	2	2	7		
	まちづくり談話室の参加者数（年間）		人	-	172	200		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
NPOの連携推進			実施					
NPOポータルサイトの活用			実施					
備考				狙う効果				
NPOやまちづくり関係団体等の連携推進を図るため、まちづくり談話室の参加者の増加に取り組んでいることから、活動指標として「まちづくり談話室の参加者数（年間）」を「数値目標」に追加する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				


3 取組内容（個表）

番号	7	取組名	多文化共生の推進		所属名	市民活躍・文化課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)		人と人とのつながりや交流が、まちに活力を生み出している。						
現状と課題		本市は県内自治体の中で、人口に占める外国人の割合が最も高く、今後も増加することが見込まれる。そのため、互いの生活習慣や文化を理解し尊重し合いながら、共に暮らしやすい地域づくりを進める必要がある。						
課題解決に向けた取組		市内在住の外国人に対して、生活・就労情報の提供や日本語学習の支援を行うとともに、多文化共生意識の醸成、多文化共生推進プランの策定に取り組む。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	多文化共生キーパーソン登録者数		人	20	23	50		
	多文化共生に関する講座等への参加者数（年間）		人	142	195	250		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
多文化共生意識を醸成する事業の実施			実施					
多文化共生推進プランの策定			検討 策定 実施					
備考				狙う効果				
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	7	取組名	多文化共生の推進		所属名	市民活躍・文化課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)			人と人とのつながりや交流が、まちに活力を生み出している。					
現状と課題			本市は県内自治体の中で、人口に占める外国人の割合が最も高く、今後も増加することが見込まれる。そのため、互いの生活習慣や文化を理解し尊重し合いながら、共に暮らしやすい地域づくりを進める必要がある。					
課題解決に向けた取組			市内在住の外国人に対して、生活・就労情報の提供や日本語学習の支援を行うとともに、市民の多文化共生意識の醸成、多文化共生推進プランの策定に取り組む。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	多文化共生キーパーソン登録者数		人	20	26	50		
	多文化共生に関する講座等への参加者数（年間）		人	142	593	250		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
多文化共生意識を醸成する事業の実施			実施					
多文化共生推進プランの策定			検討					
備考			狙う効果					
現在、県において改訂を検討している富山県外国人材活躍・多文化共生推進プランを踏まえて、本市の多文化共生推進プランを検討することから、同プランの策定に関する「取組スケジュール」を変更する。			<div><div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>					

3 取組内容（個表）

番号	9	取組名	中学校の休日部活動の地域移行の推進			所属名	学校教育課、生涯学習・スポーツ課	区分	
あるべき姿 （目指す姿）	中学校の休日部活動については、地域の運営団体・実施主体による地域部活動へ移行し、生徒の活動機会の確保と教職員の負担軽減が図られている。								
現状と課題	中学校の部活動は、生徒の減少により大会参加や活動機会が少なくなる傾向にある。また、教職員の部活動指導が、指導経験のない教職員の負担増や長時間労働の要因となっている。そのため、生徒の活動機会を確保するとともに、教職員の負担減を図る必要がある。								
課題解決に向けた取組	中学校の休日部活動を地域の運営団体・実施主体の団体へ移行する。								
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率			
	地域移行を実施する中学校部活動の部活動数	部活動数	3	6	25				
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
休日部活動の地域移行									
備考				狙う効果					
				<input type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上					

3 取組内容（個表）

番号	9	取組名	中学校の休日部活動の地域展開の推進		所属名	学校教育課、生涯学習・スポーツ課	区分	一部変更
あるべき姿（目指す姿）		中学校の休日部活動については、地域の運営団体・実施主体による地域クラブへ移行し、生徒の活動機会の確保と教職員の負担軽減が図られている。						
現状と課題		中学校の部活動は、生徒の減少により大会参加や活動機会が少なくなる傾向にある。また、教職員の部活動指導が、指導経験のない教職員の負担増や長時間労働の要因となっている。そのため、生徒の活動機会を確保するとともに、教職員の負担減を図る必要がある。						
課題解決に向けた取組		中学校の休日部活動を地域の運営団体・実施主体のクラブへ移行する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	地域展開を実施する中学校部活動の部活動数		部活動数	3	9	16		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
休日部活動の地域展開			段階的な地域展開			全ての部活動を地域展開		
備考				狙う効果				
休日の部活動の地域展開を行う部活動が16部活動であることから、「数値目標」を変更する。 令和8年度から全ての休日部活動で地域展開を実施することから、「取組スケジュール」を変更する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

次の用語について国が名称を変更したことから、標記を変更しています。

・地域移行 → 地域展開 ・地域部活動 → 地域クラブ

3 取組内容（個表）

番号	10	取組名	コミュニティ・スクールの推進		所属名	学校教育課、生涯学習・スポーツ課	区分	
あるべき姿（目指す姿）		学校と地域が目標を共有し、相互に連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていく。						
現状と課題		学校は多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況である。また、そのような学校の役割の拡大により、教員の業務量が増加している。一方、地域においても、支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会における教育力の低下が指摘されている。そのため、学校と地域が相互に連携した学校づくりや地域づくりを進める必要がある。						
課題解決に向けた取組		全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	学校運営協議会設置校数		校	0	0	21		
	地域学校協働活動推進員		人	3	3	24		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
学校運営協議会の設置			準備（済）	導入・運用				
地域学校協働本部の活動内容の充実			検討	実施				
備考				狙う効果				
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	10	取組名	コミュニティ・スクールの推進		所属名	学校教育課、生涯学習・スポーツ課	区分	一部変更
あるべき姿（目指す姿）		学校と地域が目標を共有し、相互に連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていく。						
現状と課題		学校は多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況である。また、そのような学校の役割の拡大により、教員の業務量が増加している。一方、地域においても、支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会における教育力の低下が指摘されている。そのため、学校と地域が相互に連携した学校づくりや地域づくりを進める必要がある。						
課題解決に向けた取組		全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入する。 <u>学校運営協議会及び学校支援ネットワークの活動内容の充実を図る。また、学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員の資質の向上を図る。</u>						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	学校運営協議会設置校数		校	0	20	20		
	地域学校協働活動推進員		人	3	46	24		
	<u>コミュニティ・スクール研修会の実施数（年間）</u>		回	0	2	3		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
学校運営協議会の設置			準備（済）	導入・運用				
地域学校協働本部の活動内容の充実			検討（済）	実施				
備考				狙う効果				
学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員の資質向上と活動内容の充実を図るための研修会を実施することから、「課題解決に向けた取組」及び「数値目標」を追加する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	13	取組名	公共施設マネジメントの推進	所属名	公共施設マネジメント推進課	区分	
あるべき姿（目指す姿）		公共施設マネジメントにより、本市の規模に見合った適正な施設が保全され、かつ施設維持管理コストが平準化されている。					
現状と課題		令和4年度に公共施設の包括管理業務委託を導入した。今後は施設維持管理コストの平準化や縮減を図るため、個別施設計画等の各種計画と連動しながら予防保全を含めた公共施設マネジメントを推進する必要がある。					
課題解決に向けた取組		施設データを一元管理しながら、個別施設計画と連動する施設保全計画を策定する。					
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	－	－	－	－	－		
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
公共施設包括管理業務		運用（1期目）					2期目
個別施設計画の進捗管理		進捗管理					
データ一元化による施設カルテの作成		検討（済）	作成				
施設保全計画の策定		検討	策定				
備考				狙う効果			
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div>			

3 取組内容（個表）

番号	13	取組名	公共施設マネジメントの推進	所属名	公共施設マネジメント推進課	区分	一部変更
あるべき姿（目指す姿）	公共施設マネジメントにより、本市の規模に見合った適正な施設が保全され、かつ施設維持管理コストが平準化されている。						
現状と課題	令和4年度に公共施設の包括管理業務委託を導入した。今後は施設維持管理コストの平準化や縮減を図るため、個別施設計画等の各種計画と連動しながら予防保全を含めた公共施設マネジメントを推進する必要がある。						
課題解決に向けた取組	施設データを一元管理しながら、個別施設計画と連動する 施設保全リストを作成 する。						
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	—	—	—	—	—	—	
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
公共施設包括管理業務		運用（1期目）					2期目
個別施設計画の進捗管理		進捗管理					
データ一元化による施設カルテの作成		検討（済）	作成				
施設保全リストの作成		検討（済）	作成・運用				
備考				狙う効果			
当初は、施設保全計画を策定することとしていたが、よりスピード感を持って取組を進めるため、実務に即した施設保全リストを作成することとし、「課題解決に向けた取組」及び「取組スケジュール」を変更する。				<input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	21	取組名	移住トータルサポート窓口の設置		所属名	観光まちづくり課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)		移住検討者が希望する暮らし方に合わせた住まいや仕事について、ワンストップで相談等を受け付け、円滑な移住につながっている。						
現状と課題		移住相談者に対して本市の特徴等について案内しているが、希望する暮らし方の実現に向けて民間事業者に即座につなぐことができないなど具体的な検討までに時間を要している。そのため、本市への移住機会を逃すことのない対応が必要である。						
課題解決に向けた取組		移住検討者のニーズに応じて民間事業者と連携し、本市への訪問や移住・定住を促す情報発信、住まいや仕事などの移住相談、移住後の定着支援などを一貫して行う窓口を設置する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	移住相談窓口や支援制度を活用した市外からの移住者数（年間）		人	87	198	150		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
移住に向けたトータルサポートができる窓口の設置			検討（済）		実施			
備考					狙う効果			
					<div><div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div><div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	20	取組名	移住トータルサポート窓口の設置		所属名	観光まちづくり課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		移住検討者が希望する暮らし方に合わせた住まいや仕事について、ワンストップで相談等を受け付け、円滑な移住につながっている。						
現状と課題		移住相談者に対して本市の特徴等について案内しているが、希望する暮らし方の実現に向けて民間事業者に即座につなぐことができないなど具体的な検討までに時間を要している。そのため、本市への移住機会を逃すことのない対応が必要である。						
課題解決に向けた取組		移住検討者のニーズに応じて民間事業者と連携し、本市への訪問や移住・定住を促す情報発信、住まいや仕事などの移住相談、移住後の定着支援などを一貫して行う窓口を設置する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	移住相談窓口や支援制度を活用した市外からの移住者数（年間）		人	87	341	300		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
移住に向けたトータルサポートができる窓口の設置			検討（済）		実施			
備考					狙う効果			
これまでの実績を踏まえ、「数値目標」の目標値を再設定する。					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>			



3 取組内容（個表）

番号	24	取組名	図書館の在り方の検討		所属名	生涯学習・スポーツ課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)			公民連携により機能が充実した図書館で自由に学べ、探求心が満たされている。					
現状と課題			本市の図書館は、4館（中央図書館、新湊図書館、正力図書館、下村図書館）体制での運営となっているが、人口規模に応じた適正配置を求められることから、中央図書館と新湊図書館の2館（1本館1分館）体制とし集約化を進める必要がある。					
課題解決に向けた取組			個別施設計画に基づき、正力図書館は大門総合会館の在り方を踏まえながら検討し、下村図書館は地域と協議を行う。ソフト面においても、図書館業務の委託や電子図書館の導入について調査・検討を行う。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	－		－	－	－	－		
施設状況	施設名		建設年度	利用人数(R1)	利用人数(R5)	対R1比	管理形態	
	中央図書館		平成12年	62,330人	56,926人	▲ 8.7%	市直営	
	新湊図書館（新湊中央文化会館内）		昭和56年	23,741人	18,636人	▲ 21.5%	市直営	
	正力図書館（大門総合会館内）		昭和62年	15,171人	13,441人	▲ 11.4%	市直営	
	下村図書館（下村交流センター内）		平成15年	14,923人	11,719人	▲ 21.5%	市直営	
※施設状況の利用人数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度と比較しています。								
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
廃止する2館の在り方の検討			<div>検討</div>					
図書館業務の民間委託			<div>検討</div>		<div>運用</div>			
電子図書館の導入			<div>検討</div>		<div>運用</div>			
備考					狙う効果			
					<div><div><div><input type="checkbox"/>経費の節減</div><div><input type="checkbox"/>費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/>事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/>業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/>公平性・公正性の確保</div></div><div><div><input type="checkbox"/>地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/>財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/>透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/>市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/>職員の能力・組織力の向上</div></div><div><input type="checkbox"/>サービスの向上</div></div>			



3 取組内容（個表）

番号	22	取組名	図書館の在り方の検討		所属名	生涯学習・スポーツ課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)			公民連携により機能が充実した図書館で自由に学べ、探求心が満たされている。					
現状と課題			本市の図書館は、4館（中央図書館、新湊図書館、正力図書館、下村図書館）体制での運営となっているが、人口規模に応じた適正配置を求められることから、中央図書館と新湊図書館の2館（1本館1分館）体制とし集約化を進める必要がある。					
課題解決に向けた取組			個別施設計画に基づき、正力図書館は大門総合会館の在り方を踏まえながら検討し、下村図書館は地域と協議を行う。ソフト面においても、図書館業務の委託や電子図書館の導入について調査・検討を行う。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	－		－	－	－	－	－	
施設状況	施設名		建設年度	利用人数(R1)	利用人数(R6)	対R1比	管理形態	
	中央図書館		平成12年	62,330人	58,485人	▲ 6.2%	市直営	
	新湊図書館（新湊中央文化会館内）		昭和56年	23,741人	18,642人	▲ 21.5%	市直営	
	正力図書館（大門総合会館内）		昭和62年	15,171人	13,255人	▲ 12.6%	市直営	
	下村図書館（下村交流センター内）		平成15年	14,923人	11,909人	▲ 20.2%	市直営	
※施設状況の利用人数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度と比較しています。								
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
廃止する2館の在り方の検討			検討					
図書館業務の民間委託			検討			運用		
電子図書館の導入			検討			運用		
備考					狙う効果			
図書館業務の民間委託及び電子図書館の導入について、運用コストの課題解消に向けて検討するため、運用開始を令和8年度に変更することから、「取組スケジュール」を変更する。					☐ 経費の節減 ☐ 地域の活性化・魅力向上 ☐ 費用対効果の向上 ☐ 財政・経営の健全化 ☐ 事務効率の向上 ☐ 透明性の確保・市民への説明責任 ☑ 業務量の低減 ☐ 市民協働の推進 ☑ サービスの向上 ☐ 公平性・公正性の確保 ☐ 職員の能力・組織力の向上			





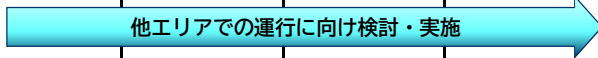
3 取組内容（個表）

番号	27	取組名	指定避難所への地震解錠キーボックス等の導入		所属名	防災・資産管理課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)			災害発生等の緊急時に、速やかに避難できる体制が整っており、市民の安全安心が確保されている。					
現状と課題			避難所は、避難所開設担当職員（市職員）から連絡を受けた施設管理者（施設職員）が入口の鍵を解錠しているが、能登半島地震発生当時は、避難所に施設の職員が到着する前に避難者が避難してきた。災害発災等の緊急時に、避難者が速やかに避難所内に避難できる仕組みを整える必要がある。					
課題解決に向けた取組			災害発生等の緊急時には、避難者が避難所入口の解錠が行えるよう、コミュニティセンターや小中学校等の一次避難所に、スペアキーを入れておくキーボックスを導入する。 ・沿岸部の避難所…設定した震度を感知すると扉が自動解錠する地震解錠キーボックス ・その他の避難所…ダイヤル錠により解錠するタイプのキーボックス					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	地震解錠キーボックス等を導入した避難所数		箇所	0	0	68		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
地震解錠キーボックス等の導入								
施設、地域、職員への説明・周知								
備考					狙う効果			
					□ 経費の節減 □ 地域の活性化・魅力向上			
					□ 費用対効果の向上 □ 財政・経営の健全化			
					☑ 事務効率の向上 □ 透明性の確保・市民への説明責任			
					□ 業務量の低減 □ 市民協働の推進 □ サービスの向上			
					□ 公平性・公正性の確保 □ 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	25	取組名	指定避難所への地震解錠キーボックス等の導入	所属名	防災・資産管理課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		災害発生等の緊急時に、速やかに避難できる体制が整っており、市民の安全安心が確保されている。					
現状と課題		避難所は、避難所開設担当職員（市職員）から連絡を受けた施設管理者（施設職員）が入口の鍵を解錠しているが、能登半島地震発生当時は、避難所に施設の職員が到着する前に避難者が避難してきた。災害発災等の緊急時に、避難者が速やかに避難所内に避難できる仕組みを整える必要がある。					
課題解決に向けた取組		災害発生等の緊急時には、避難者が避難所入口の解錠が行えるよう、コミュニティセンターや小中学校等の一次避難所に、スペアキーを入れておくキーボックスを導入する。 ・沿岸部の避難所…設定した震度を感知すると扉が自動解錠する地震解錠キーボックス ・その他の避難所…ダイヤル錠により解錠するタイプのキーボックス					
数値目標	項目名		単位	当初(R5)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
	地震解錠キーボックス等を導入した避難所数		箇所	0	19	68	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地震解錠キーボックス等の導入							
施設、地域、職員への説明・周知							
備考				狙う効果			
一次避難所のキーボックス等の導入について、令和6年度は沿岸部の避難所へのキーボックスの導入から優先して着手し、令和7年度において沿岸部以外の一次避難所に導入することから、「取組スケジュール」を変更する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	29	取組名	持続可能な公共交通の実現		所属名	生活安全課	区分		
あるべき姿 (目指す姿)			A I オンデマンドバス等の新しい交通システムが 実現し 、運行の効率化と利用者の利便性が向上している。						
現状と課題			現在運行しているコミュニティバス及びデマンドタクシーにおいては、サービス水準の維持・充実が求められる中、運行負担金の増加や一部路線における利用者の伸び悩み、また、公共交通事業の担い手負担も深刻化しており、運行の効率化と利便性の向上が必要である。						
課題解決に向けた取組			A I を活用し最適配車を行う新しい交通システムであるA I オンデマンドバス「のるーと射水」を導入する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率		
	コミュニティバス・デマンドタクシー・A I オンデマンドバス運行負担金（年間）		千円	272, 545	301, 409	250, 000			
	コミュニティバス・デマンドタクシー・A I オンデマンドバス利用者数（年間）		人	359, 294	380, 659	450, 000			
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
A I オンデマンドバス「のるーと射水」実証運行、本格運行			【南東エリア】						
			【北東エリア】						
									
備考					狙う効果				
					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><input checked="" type="checkbox"/> サービスの向上</div>				

3 取組内容（個表）

番号	27	取組名	持続可能な公共交通の実現		所属名	生活安全課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)			A I オンデマンドバス等の新しい交通システムの導入等により、運行の効率化と利用者の利便性が向上している。					
現状と課題			現在運行しているコミュニティバス及びデマンドタクシーにおいては、サービス水準の維持・充実が求められる中、運行負担金の増加や一部路線における利用者の伸び悩み、また、公共交通事業の担い手負担も深刻化しており、運行の効率化と利便性の向上が必要である。					
課題解決に向けた取組			A I を活用し最適配車を行う新しい交通システムであるA I オンデマンドバス「のるーと射水」を導入するとともに、物価・人件費高騰等も踏まえた運賃の見直しの検討を行う。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率(R6)	
	コミュニティバス・デマンド交通等の 人件費高騰等を除く収支差額（年間）		千円	269,816	307,065	324,100		
	コミュニティバス・デマンド交通等の 利用者数（年間）		人	365,887	397,205	400,000		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
A I オンデマンドバス「のるーと射水」実証運行、本格運行			【南東エリア】	実証運行（済）	本格運行（済）			
			【北東エリア】	実証運行（済）	本格運行（済）			
			【北西・南西エリア】	検討	実証運行	本格運行		
コミュニティバス・オンデマンド交通等の 運賃の見直しの検討					調査・検討・見直し			
備考					狙う効果			
令和7年3月に策定した射水市地域公共交通計画との整合を図るため、「あるべき姿」、「数値目標」及びA I オンデマンドバスの「取組スケジュール」を変更する。 物価・人件費高騰等も踏まえた運賃の見直しの検討について、「課題解決に向けた取組」を変更するとともに「取組スケジュール」に追加する。					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	33	取組名	多様な働き方を実現するテレワーク制度の見直し		所属名	人事課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)			テレワークがごく当たり前の働き方として捉えられ、場所に捉われない柔軟な働き方が実現されている。					
現状と課題			令和3年5月からテレワークを本格実施してきたが、主に新型コロナウイルス感染症対策を意識したものであり、ワーク・ライフ・バランスの推進としての利用は少ない。育児や介護等に携わる職員をはじめ、希望する職員が柔軟に利用できる制度設計とする必要がある。					
課題解決に向けた取組			テレワークの申請方法や、利用期間、利用時間帯の選択肢の拡充など、制度設計の見直しの検討を行う。また、庁内の業務端末・ネットワークの更新に合わせ、テレワークの利用場所を拡充する。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	テレワーク制度利用者数(年間延べ人数)		人	143	123	400		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
テレワーク制度の見直しの検討、運用			検討		運用			
テレワーク制度の周知・利用促進					周知・利用促進			
セキュリティ面の課題解決の検討			検討					
備考					狙う効果			
					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	31	取組名	多様な働き方を実現するテレワーク制度の見直し		所属名	人事課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		テレワークがごく当たり前の働き方として捉えられ、場所に捉われない柔軟な働き方が実現されている。						
現状と課題		令和3年5月から本格実施してきたが、主に新型コロナウイルス感染症対策を意識したものであり、ワーク・ライフ・バランスの推進としての利用は少ない。育児や介護等に携わる職員をはじめ、希望する職員が柔軟に利用できる制度設計とする必要がある。						
課題解決に向けた取組		テレワークの申請方法や、利用期間、利用時間帯の選択肢の拡充など、制度設計の見直しの検討を行う。また、庁内の業務端末・ネットワークの更新に合わせ、テレワークの利用場所を拡充する。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	—		—	—	—	—	—	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
テレワーク制度の見直しの検討、運用			検討			試行運用	本格運用	
テレワーク制度の周知・利用促進						周知・利用促進		
セキュリティ面の課題解決の検討			検討			試行運用	本格運用	
備考					狙う効果			
これまでテレワーク制度の利用者数を数値目標に掲げていたが、新たな制度では多様な働き方の実現を目的としていることを踏まえ、「数値目標」を削除する。 令和7年7月から試行運用を開始したことから、「取組スケジュール」を変更する。					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	38	取組名	自治体情報システムの標準化・共通化			所属名	未来創造課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)			全国の自治体と同じ仕様に基づいた情報システムを利用し、国の施策に迅速に対応できている。						
現状と課題			県内市町村では、自治体情報システムの共同利用を行っており、経費の削減とサービスの充実に取り組んでいるが、全国的には、自治体ごとに違ったシステムを利用している。そのため、給付金等の国の施策に対し、迅速に対応ができておらず、見直しが必要となっている。						
課題解決に向けた取組			国の仕様に基づいた自治体情報システムを、県内市町村共同で効率的に調達を行う。						
数値 目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率		
	—		—	—	—	—			
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
標準準拠システムの調査			検討（済）						
標準準拠システムの調達・構築				調達・構築					
標準準拠システムの運用						運用			
備考				狙う効果					
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>					




3 取組内容（個表）

番号	36	取組名	自治体情報システムの標準化・共通化		所属名	未来創造課	区分	一部変更		
あるべき姿 (目指す姿)			全国の自治体が同じ仕様に基づいた情報システムを利用し、国の施策に迅速に対応できている。							
現状と課題			県内市町村では、自治体情報システムの共同利用を行っており、経費の削減とサービスの充実に取り組んでいるが、全国的には、自治体ごとに違ったシステムを利用している。そのため、給付金等の国の施策に対し、迅速に対応ができておらず、見直しが必要となっている。							
課題解決に向けた取組			国の仕様に基づいた自治体情報システムを、県内市町村共同で効率的に調達を行う。							
数値 目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率			
	－		－	－	－	－	－			
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
標準準拠システムの調査			検討（済）							
標準準拠システムの調達・構築			調達・構築							
標準準拠システムの運用			運用							
備考				狙う効果						
県内市町村共同でシステムを調達しており、他市町村とスケジュールを調整しながら取組を進めているところであるが、本市の新システムが令和8年9月以降に段階的に運用開始となることから、「取組スケジュール」を変更する。				<input type="checkbox"/> 経費の節減					<input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上	
				<input type="checkbox"/> 費用対効果の向上					<input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化	
				<input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上					<input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任	
				<input type="checkbox"/> 業務量の低減					<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> サービスの向上
				<input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保					<input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上	

3 取組内容（個表）

令和6年度の集中改革プランでは
掲載なし

3 取組内容（個表）

番号	42	取組名	効率的な道路維持管理システムの運用				所属名	道路課	区分	新規 令和7年度
あるべき姿 (目指す姿)			道路維持管理業務の効率化が進むことにより迅速かつ効果的な対応につながり、適切に市道が管理されている。							
現状と課題			道路施設の老朽化の進行等に伴う補修などの維持管理に係る業務の増加や複雑化に対応しながら、限られた人員で効率的な道路の維持管理を行う必要がある。							
課題解決に向けた取組			専用アプリをインストールしたスマートフォンを道路パトロール時に活用することにより効率的に異常箇所の情報収集やパトロール記録の作成を行うとともに、それらの情報と外部からの通報・苦情などのデータを共有・一元管理する道路維持管理システムを導入する。							
数値 目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率			
	－		－	－	－	－				
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
道路維持 I C T 管理システムの導入										
備考				狙う効果						
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input checked="" type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>						

3 取組内容（個表）

番号	55	取組名	未利用市有地の有効活用	所属名	防災・資産管理課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)		未利用市有地を適切に売却、貸付けし自主財源を確保するとともに、有効活用による地域活性化につながっている。					
現状と課題		公売や貸付、民間提案事業等により普通財産の利活用に努めている。物件ごとに様々な課題を抱えており、利活用するには相応の時間と費用を要する。					
課題解決に向けた取組		サウンディング調査等により、個々の物件について精査するとともに、優先順位をつけて調査を行い、土地の利活用を図る。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率
	普通財産（市有地）累計売却額 ※法定外公共物を除く		千円	—	224,609	300,000	
	普通財産（市有地）累計貸付額 ※法定外公共物を除く		千円	—	6,631	32,500	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
未利用市有地の売却			継続して実施				
未利用市有地の貸付			継続して実施				
備考				狙う効果			
				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div>			





3 取組内容（個表）

番号	53	取組名	未利用市有地の有効活用		所属名	防災・資産管理課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		未利用市有地を適切に売却、貸付けし自主財源を確保するとともに、有効活用による地域活性化につながっている。						
現状と課題		公売や貸付、民間提案事業等により普通財産の利活用に努めている。物件ごとに様々な課題を抱えており、利活用するには相応の時間と費用を要する。						
課題解決に向けた取組		サウンディング調査等により、個々の物件について精査するとともに、優先順位をつけて調査を行い、土地の利活用を図る。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	—		—	—	—	—	—	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
未利用市有地の売却			継続して実施					
未利用市有地の貸付			継続して実施					
備考				狙う効果				
これまで、数値目標を掲げて取り組んできたが、年度ごとに有効活用に資する物件内容に変動が生じることから、今回から数値目標を設定しないこととし、引き続き未利用市有地の有効活用に努めていく。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	56	取組名	企業立地の促進	所属名	商工企業立地課	区分	
あるべき姿（目指す姿）	市内の企業団地やサテライトオフィスに多様な企業が進出し、活発な経済活動が行われている。また、時代の変化に対応した新たな企業団地の整備が進められている。						
現状と課題	従来の大規模企業用地に加え、多様なライフスタイルや働き方への対応が可能な小規模オフィス（サテライトオフィス等）への企業立地の促進を図っていくほか、年々変化する企業ニーズを的確に捉えた、新たな事業用地の整備を検討する必要がある。						
課題解決に向けた取組	企業ニーズや社会情勢に応じた助成制度の見直し等を行いながら、既存の企業団地の早期売込に向けた積極的な企業誘致活動を行うとともに、新たな企業団地や経済活動の場の整備・充実を図る。						
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	市内既存企業団地の分譲率	%	98.1	97.5	100		
	サテライトオフィス等の設置数	箇所	0	1	3		
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
沖塚原企業団地の売却		実施					
新たな事業用地の検討、整備等			検討		実施		
企業誘致（サテライトオフィス含む）		実施					
備考				狙う効果			
				<input type="checkbox"/> 経費の節減 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	54	取組名	企業立地の促進	所属名	商工企業立地課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		市内の企業団地やサテライトオフィスに多様な企業が進出し、活発な経済活動が行われている。また、時代の変化に対応した新たな企業団地の整備が進められている。					
現状と課題		従来の大規模企業用地に加え、多様なライフスタイルや働き方への対応が可能な小規模オフィス（サテライトオフィス等）への企業立地の促進を図っていくほか、年々変化する企業ニーズを的確に捉えた、新たな事業用地の整備を検討する必要がある。					
課題解決に向けた取組		企業ニーズや社会情勢に応じた助成制度の見直し等を行いながら、既存の企業団地の早期売込に向けた積極的な企業誘致活動を行うとともに、新たな企業団地や経済活動の場の整備・充実を図る。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率
	市内既存企業団地の分譲率		%	98.1	97.5	100	
	サテライトオフィス等開設支援事業件数（累計）		件	0	1	8	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
沖塚原企業団地の売却							
新たな事業用地の検討、整備等							
企業誘致（サテライトオフィス含む）							
備考				狙う効果			
第3次総合計画及び第3次中小企業振興計画との整合を図るため、「数値目標」を変更する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	57	取組名	水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営			所属名	上下水道業務課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)	将来にわたり持続可能な水道事業運営が実施されている。								
現状と課題	人口減少と節水器具の普及により料金収入が減少する一方、県企業局からの送水管更新に伴う受水費や電力料金の高騰等により費用が増加すると見込まれるため、その対策を確立する必要がある。								
課題解決に向けた取組	広域連携による効率化協議を推進するなど費用の縮減に努めるとともに、市民への情報周知を強化する。								
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率			
	—	—	—	—	—	—			
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
現行ビジョンの見直し		検討(済)	見直し案策定	公表	運営及び検証				
備考				狙う効果					
				<input type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上					

3 取組内容（個表）

番号	55	取組名	水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営		所属名	上下水道業務課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		将来にわたり持続可能な水道事業運営が実施されている。						
現状と課題		人口減少と節水器具の普及により料金収入が減少する一方、県企業局からの送水管更新に伴う受水費や電力料金の高騰等により費用が増加すると見込まれるため、その対策を確立する必要がある。						
課題解決に向けた取組		水道施設の計画的かつ効率的な更新や広域連携協議などによる費用の縮減に努める。 あわせて、その取組を含めた経営情報を市民と共有するとともに、料金水準適正化の必要性について、より一層の周知に取り組む。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	－		－	－	－	－	－	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
現行ビジョンの見直し			検討(済)	素案策定	公表	運営及び検証		
備考				狙う効果				
令和7年6月に見直しを行った水道事業ビジョンとの整合を図るため、「課題解決に向けた取組」を変更する。				<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>				




3 取組内容（個表）

番号	58	取組名	下水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営			所属名	上下水道業務課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)	将来にわたり持続可能な下水道事業運営が実施されている。								
現状と課題	人口減少と節水器具の普及により使用料収入が減少する一方、電力料金の高騰等により費用が増加傾向にあるため、その対策を確立する必要がある。								
課題解決に向けた取組	流域下水道への接続等により維持管理の効率化を図るとともに、市民への情報周知を強化する。								
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率			
	—	—	—	—	—	—			
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
現行ビジョンの見直し		検討(済)	見直し案策定	公表	運営及び検証				
備考				狙う効果					
				<input type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上					




3 取組内容（個表）

番号	56	取組名	下水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営		所属名	上下水道業務課	区分	一部変更
あるべき姿（目指す姿）			将来にわたり持続可能な下水道事業運営が実施されている。					
現状と課題			人口減少と節水器具の普及により使用料収入が減少する一方、電力料金の高騰等により費用が増加傾向にあるため、その対策を確立する必要がある。					
課題解決に向けた取組			<div>下水道施設の計画的かつ効率的な更新や流域下水道への接続等により維持管理の効率化を図る。 あわせて、その取組を含めた経営情報を市民と共有するとともに、使用料水準適正化の必要性について、より一層の周知に取り組む。</div>					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	－		－	－	－	－	－	
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
現行ビジョンの見直し			検討(済)	素案策定	公表	運営及び検証		
備考					狙う効果			
令和7年6月に見直しを行った下水道事業ビジョンとの整合を図るため、「課題解決に向けた取組」を変更する。					<div><div><input type="checkbox"/> 経費の節減 <input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	59	取組名	電子式水道メーターのスマート化		所属名	上下水道業務課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)		水道メーターのスマート化が実現し、自動検針による事務の効率化やサービスの向上が実現できている。						
現状と課題		水道事業においては、水需要の低下や検針員確保の困難化、さらには、水道施設や管路等の老朽化等が進行しており、将来にわたって健全かつ安定的な水道サービスを維持していくには、事業の最適化や効率化のさらなる取組が必要である。						
課題解決に向けた取組		導入時期や財源確保についての検討を行いながら、電子式水道メーターをスマート化し、検針業務の効率化・正確性の向上、漏水の早期発見による効率的な水運用及び使用状況の可視化による使用者サービスの向上等を図る。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	スマート化対応済の栓数		栓	—	0	900		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
大口径水栓								
集合住宅								
備考				狙う効果				
				<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	57	取組名	電子式水道メーターのスマート化		所属名	上下水道業務課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		水道メーターのスマート化が実現し、自動検針による事務の効率化やサービスの向上が実現できている。						
現状と課題		水道事業においては、水需要の低下や検針員確保の困難化、さらには、水道施設や管路等の老朽化等が進行しており、将来にわたって健全かつ安定的な水道サービスを維持していくには、事業の最適化や効率化のさらなる取組が必要である。						
課題解決に向けた取組		導入時期や財源確保についての検討を行いながら、電子式水道メーターをスマート化し、検針業務の効率化・正確性の向上、漏水の早期発見による効率的な水運用及び使用状況の可視化による利用者サービスの向上等を図る。						
数値目標	項目名		単位	当初(R5)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	スマート化対応済の栓数		栓	0	182	900		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
大口径水栓								
集合住宅								
備考				狙う効果				
大口径水栓の水道メーターのスマート化について、当初の予定を前倒しして令和6年度中に完了したことから、「取組スケジュール」を変更する。				<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> サービスの向上</div></div>				

3 取組内容（個表）

番号	61	取組名	汚水処理事業の広域化(処理場の統廃合)	所属名	下水道工務課	区分	
あるべき姿 (目指す姿)	農業集落排水処理区等の汚水処理施設(3処理場)を神通川左岸流域下水道へ統合し、施設を効率的に運営管理している。						
現状と課題	八講、白石及び白城台処理区の汚水処理施設については、供用開始後30年前後経過しており、施設の老朽化に伴い、既設設備の更新や大規模な修繕が必要である。						
課題解決に向けた取組	下水道施設の広域化により効率的な運営管理を図るため、汚水を神通川左岸流域下水道へ接続替えし、汚水処理施設の統廃合に取り組む。						
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	統廃合した汚水処理施設数	処理場	0	0	3		
取組スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
接続切替の実施設計業務		実施					
八講処理区の接続切替工事				実施	統廃合		
白石・白城台処理区の接続切替工事					実施	統廃合	
備考				狙う効果			
				<input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	59	取組名	汚水処理事業の広域化(処理場の統廃合)		所属名	下水道工務課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)		農業集落排水処理区等の汚水処理施設(3処理場)を神通川左岸流域下水道へ統合し、施設を効率的に運営管理している。						
現状と課題		八講、白石及び白城台処理区の汚水処理施設については、供用開始後30年前後経過しており、施設の老朽化に伴い、既設設備の更新や大規模な修繕が必要である。						
課題解決に向けた取組		下水道施設の広域化により効率的な運営管理を図るため、汚水を神通川左岸流域下水道へ接続替えし、汚水処理施設の統廃合に取り組む。						
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	統廃合した汚水処理施設数		処理場	0	0	3		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
接続切替の実施設計業務			実施(済)					
八講処理区の接続切替工事						実施	統廃合	
白石・白城台処理区の接続切替工事							実施	
備考					狙う効果			
能登半島地震からの復旧を優先し、各処理区における接続切替工事の実施時期を変更したため、「取組スケジュール」を変更する。					<div><div><input checked="" type="checkbox"/>経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/>費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/>事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/>業務量の低減</div><div><input type="checkbox"/>公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/>地域の活性化・魅力向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/>財政・経営の健全化</div><div><input checked="" type="checkbox"/>透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/>市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/>サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/>職員の能力・組織力の向上</div></div>			

3 取組内容（個表）

番号	62	取組名	病院事業における総合的な経営改善策の推進	所属名	市民病院経営管理課	区分	
あるべき姿（目指す姿）	経営改善に取り組み、経常収支比率が100%を超えている。						
現状と課題	新型コロナウイルス関連の特別な収益等により経常収支比率は100%を超えているが、段階的に縮小されていくことが見込まれる。今後は医療収益の向上を図ることで経常収支比率100%を維持し、将来的に持続可能な医療提供体制を確保するための病院経営に努める必要がある。						
課題解決に向けた取組	令和5年度に策定する公立病院経営強化プラン（計画期間：令和6～9年度）の中で持続可能な医療提供体制の確保に向けた経営強化策を示すとともに、現在タスク管理として取り組んでいる入院患者数増加に係る取組を推進する。						
数値目標	項目名	単位	当初(R4)	実績(R5)	目標値(R9)	達成率	
	病床稼働率（一般病棟）	%	67.6	69.9	75.0		
	取組スケジュール	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	公立病院経営強化プランの策定	策定（済）			見直し		
	他医療機関からの紹介患者受入	継続して実施					
	救急医療体制の充実	継続して実施					
	地域包括ケア病棟の効率的な運用	継続して実施					
備考				狙う効果			
				<input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上 <input type="checkbox"/> 費用対効果の向上 <input type="checkbox"/> 財政・経営の健全化 <input type="checkbox"/> 事務効率の向上 <input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任 <input type="checkbox"/> 業務量の低減 <input type="checkbox"/> 市民協働の推進 <input type="checkbox"/> サービスの向上 <input type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保 <input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上			

3 取組内容（個表）

番号	60	取組名	病院事業における総合的な経営改善策の推進		所属名	市民病院経営管理課	区分	一部変更
あるべき姿 (目指す姿)			経営改善に取り組み、経常収支比率が100%を超えている。					
現状と課題			新型コロナウイルス感染症が収束しても来院患者数が回復していないことや、人件費や物価高騰に伴う費用の増加が病院経営を悪化させており、今後は患者の確保とともに、より質の高い医療を提供することで医療収益をさらに増加させ、効率的な病院経営に努める必要がある。					
課題解決に向けた取組			令和5年度に策定する公立病院経営強化プラン（計画期間：令和6～9年度）の中で持続可能な医療提供体制の確保に向けた経営強化策を示すとともに、現在タスク管理として取り組んでいる入院患者数増加に係る取組を推進する。					
数値目標	項目名		単位	当初(R4)	実績(R6)	目標値(R9)	達成率	
	病床稼働率（一般病棟）		%	67.6	72.6	75.0		
取組スケジュール			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
公立病院経営強化プランの策定			策定(済)			見直し		
他医療機関からの紹介患者受入			継続して実施					
救急医療体制の充実			継続して実施					
地域包括ケア病棟の効率的な運用			継続して実施					
備考				狙う効果				
病院事業の実績を踏まえ、「現状と課題」を変更する。				<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 費用対効果の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事務効率の向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 業務量の低減</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 公平性・公正性の確保</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地域の活性化・魅力向上</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 財政・経営の健全化</div><div><input type="checkbox"/> 透明性の確保・市民への説明責任</div><div><input type="checkbox"/> 市民協働の推進</div><div><input type="checkbox"/> サービスの向上</div><div><input type="checkbox"/> 職員の能力・組織力の向上</div></div>				